

NEXCO 試験方法 第2編 アスファルト舗装関係試験方法 (令和5年7月) _正誤表 (1/1)

誤

試験様式-275 (記入例)

試験法-251	低速プロファイラによる路面の IRI 測定 (日報)				
調査・工事名	測定年月日		年	月	日
測定区間	KP	~ KP	上り・下り・走行: I・II・追越・登坂		
測定距離	km	測定者	測定器名	〇〇〇	舗装種別 高機能 I 型

No.	測定区間 KP~KP	① 区間距離(m)	② IRI(mm/m)	③ ①×②	④ 補正の有 無	備考
1	77.300~77.400	100	1.3	130		トンネル
2	77.400~77.500	100	1.2	120		土工
3	77.500~77.600	100	1.4	140		土工/橋梁
4	77.600~78.700	100	1.6	160	有	橋梁, ジョイント部補正
5	78.700~78.840	140(100/100)	2.0(2.2/1.7)	280		土工
Σ		540		830		
平均		最大		最小		
1.5		2.2		1.2		

備考:

- ・平均値の算出 : 全体 = $\Sigma ③ \div \Sigma ①$ (小数点第一位を四捨五入)
- ・工事平均値は、しゅん功までに施工した全施工区間に対して上記方法で平均IRIを算出する。
- ・施工延長が100m以上で端数が生じた場合、下記集計例によりIRIを算出する。

集計例) 下図の場合、140mの施工区間であれば、評価区間①と評価区間②に分けて、評価値を算出する。

評価値の記載は、①に補修区間及び評価区間I・IIの延長、②に延長ごとのIRIを記入する。(記載例はNo.5参照)



不許複製

正

試験様式-275 (記入例)

試験法-251	低速プロファイラによる路面の IRI 測定 (日報)				
調査・工事名	測定年月日		年	月	日
測定区間	KP	~ KP	上り・下り・走行: I・II・追越・登坂		
測定距離	km	測定者	測定器名	〇〇〇	舗装種別 高機能 I 型

No.	測定区間 KP~KP	① 区間距離(m)	② IRI(mm/m)	③ ①×②	④ 補正の有 無	備考
1	77.300~77.400	100	1.3	130		トンネル
2	77.400~77.500	100	1.2	120		土工
3	77.500~77.600	100	1.4	140		土工/橋梁
4	77.600~78.700	100	1.6	160	有	橋梁, ジョイント部補正
5	78.700~78.840	140(100/100)	2.0(2.2/1.7)	280		土工
Σ		540		830		
平均		最大		最小		
1.5		2.2		1.2		

備考:

- ・平均値の算出 : 全体 = $\Sigma ③ \div \Sigma ①$ (小数点第二位を四捨五入)
- ・工事平均値は、しゅん功までに施工した全施工区間に対して上記方法で平均IRIを算出する。
- ・施工延長が100m以上で端数が生じた場合、下記集計例によりIRIを算出する。

集計例) 下図の場合、140mの施工区間であれば、評価区間①と評価区間②に分けて、評価値を算出する。

評価値の記載は、①に補修区間及び評価区間I・IIの延長、②に延長ごとのIRIを記入する。(記載例はNo.5参照)



不許複製